



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
と
ツムぐ学生

第8号(特別号)

2017年4月14日

編集 濱島和也

(片葩小SP担当)

2017年4月14日(金)、竹内先生の離任式

※少し上から目線の文章になることを、今日だけはお許してください。

今日、一人のスーパースターが片葩小学校を去りました。職員がみんな口をそろえてその人をこう言います。『こんな人見たことがない…』。体型ではありません。その人の仕事の量です。‘朝3時には学校に来る’、と初めて聞いたときの衝撃はみな同じだったと思います。自分も大学3年生の時に中村先生から聞いて、『この冗談にはどうやって反応すればいいんだろう』と困ったことを覚えています。

一番最初にその先生から教わったことは、自己紹介。『子どもたちにインパクトが残るような自己紹介がいいですねえ。』と満面の笑みでプレッシャーをかけられました。

た：体重100kg

け：剣道五段

う：ウルトラマンみたいに

ち：力持ち！

その先生こそ、片葩小学校校務主任の竹内稔博先生です。竹内先生のこの自己紹介はととてもずるい。もう一つ目で子どもの心を驚掴みしました。

私自身、SP時代から合わせて3年間、本当にお世話になりました。授業・生徒指導など、教員のいろはを大きな背中であげてくださいました。特に、算数の授業については、昨年度、初任者研修の中で、特にどうやったら子どもは授業を集中して参加できるのか、『わかる授業』とは、どういったものかを中心に、丁寧に教えていただきました。

おかげで、今の私の学級の子どもたちが、授業中に集中していっぱい手を挙げて取り組んでくれます。昨年の11月から、竹内先生が手塩にかけて育ててきた子どもたち、現在とてもいい方向に向かって成長しています。これも3月までの先生の教え、そして、道筋を示してくれたおかげであり、今、自分たちはとても指導しやすいです。これから、責任をもってあの子たちを育ていきます。

また、影響されたのは子どもたちだけではなく、SPも大きく影響を受けていました。竹内先生が作ってくださる通信に自信をもち、背中を押されていました。そして、竹内先生が片葩小学校にSPの居場所を作ってくくださったと感じているSPは大勢います。また、先生の姿を目に焼き付けて現場で奮闘している元SP(緒方剛先生を筆頭に)もたくさんいます。本当に自分たちは竹内先生に出会えて幸せでした。元・現役のSPを代表して感謝を述べさせていただきます。本当に、大きな、そして、多くの財産を自分たちに残して、贈ってください、ありがとうございました。また一緒に働ける日がくることを楽しみにしながら、一日一日の仕事をがんばっていきたいと思います。

【追伸】：竹内先生の離任式でのお話

竹内先生：先生の道徳の授業受けたことある人？

全校生徒：挙手

